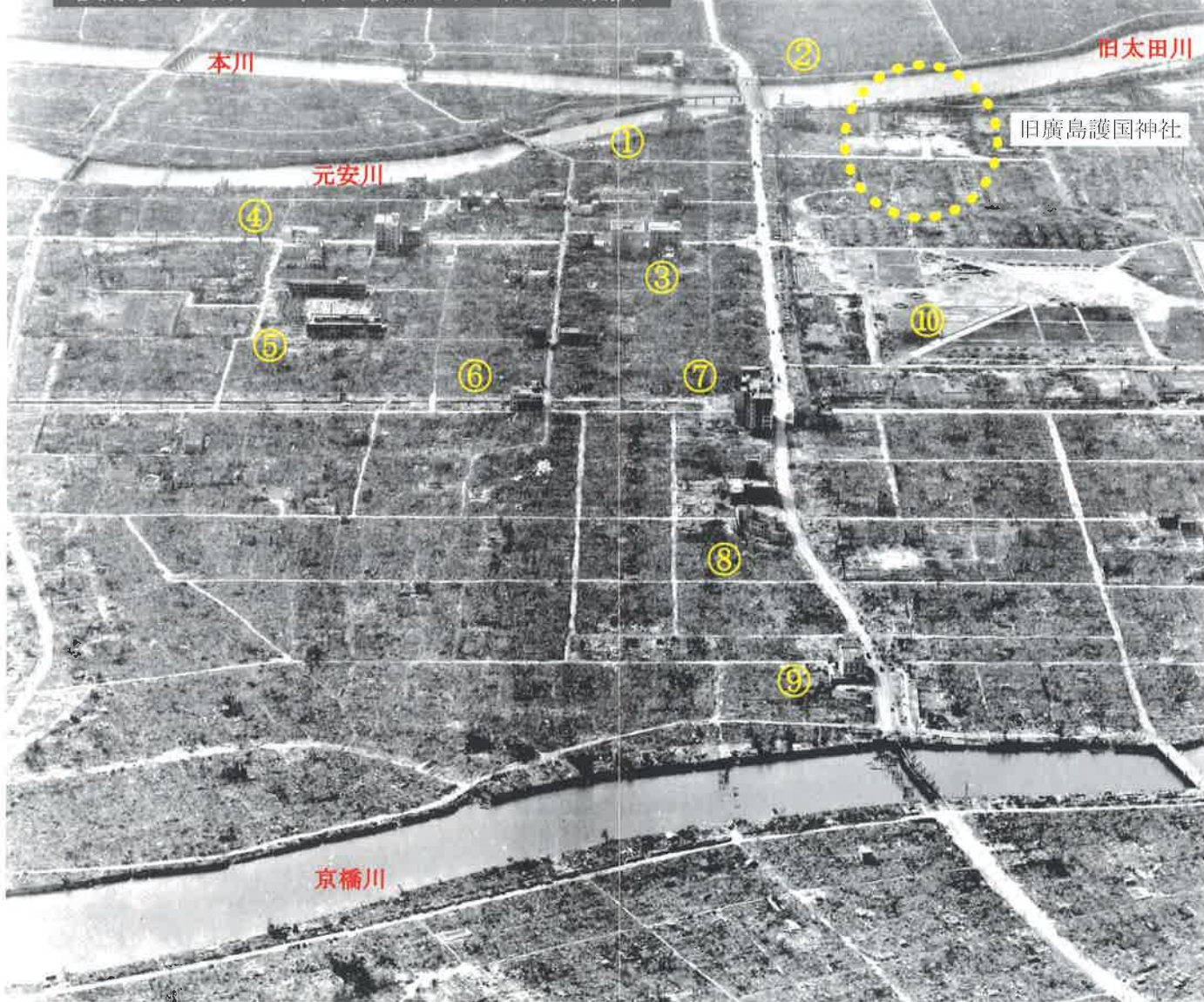


被爆後(8月)の市内(東から西へ向けて撮影)



昭和20年(1945年)8月にアメリカ海軍が東から西へ向けて撮影した被爆後の広島
原典: U.S. Navy National Museum of Naval Aviation photo

- ①原爆ドーム ②相生橋 ③芸備銀行本店(現広島銀行) ④日本銀行広島支店 ⑤広島中央電話局
- ⑥キンピヤホール ⑦福屋本店 ⑧日本勧業銀行広島支店 ⑨広島東警察署 ⑩西練兵場

ひろしま ごこく 旧広島護国神社 被爆鳥居台座

この台座(鳥居の支柱の土台部分)は、青少年センターの北隣、爆心地から北方向に約370mにあった旧広島護国神社のもので、神社には、鳥居が3つありました。爆風によって北側の鳥居は北方向に、東側の鳥居は西方向に倒壊しました。この台座は、北側の鳥居の支柱土台部分のひとつとされています。



原爆(昭20,8,6 あさ、8:15)によって折れた
旧護国神社鳥居(北面)の脚部

昭和46年の公園内を南北に走る下水工事中現位置より北約20mのところで見つけた。上記鳥居であることが確認されたのは、佐々木雄一郎氏(市内元宇品写真家)の貴重なフィルムによる。即ち氏は、被爆一ヶ月後からの「ひろしま」を数多く撮影しているがその中にこの鳥居に関するもの3枚があった。館内玄関に展示している。尚これが発掘、設置については清水建設の協力を得た。

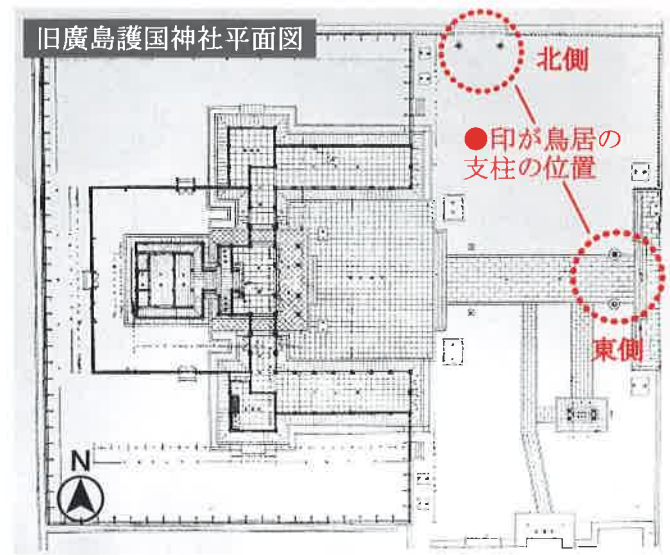
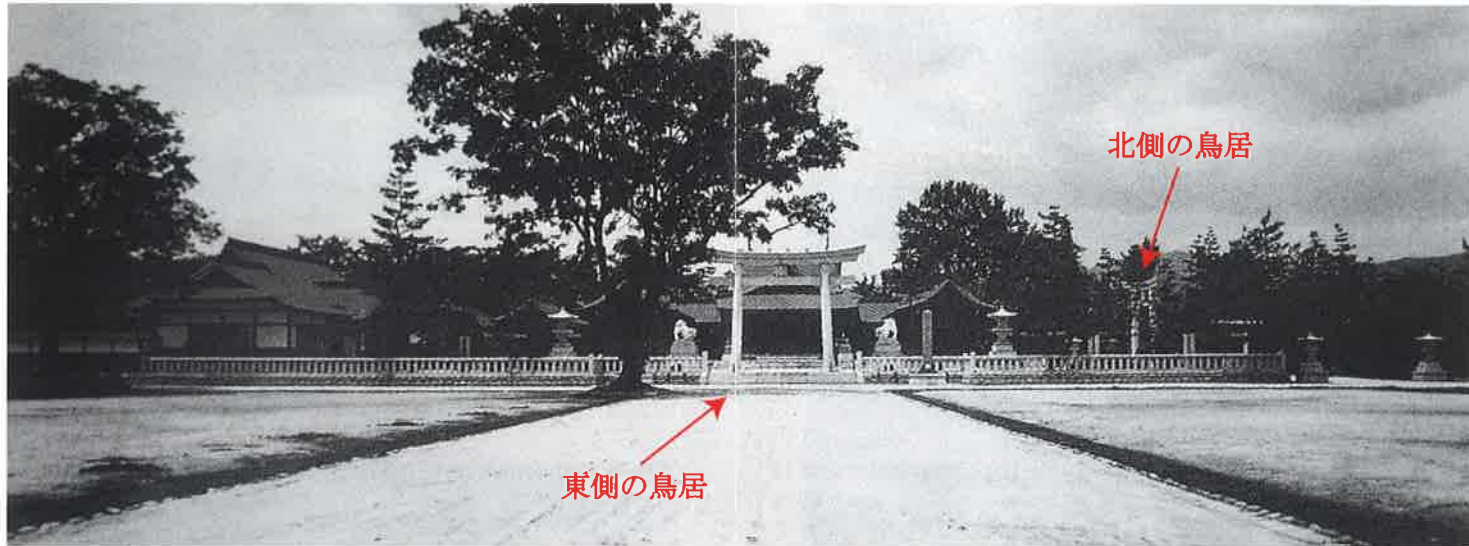
昭和46年12月22日 広島市青少年センター

公益財団法人広島市文化財団
広島市青少年センター

〒730-0011 広島市中区基町5番61号
TEL (082) 228-0447 FAX (082) 228-7074

旧廣島護国神社

※昭和9年（1934年）頃、東から撮影

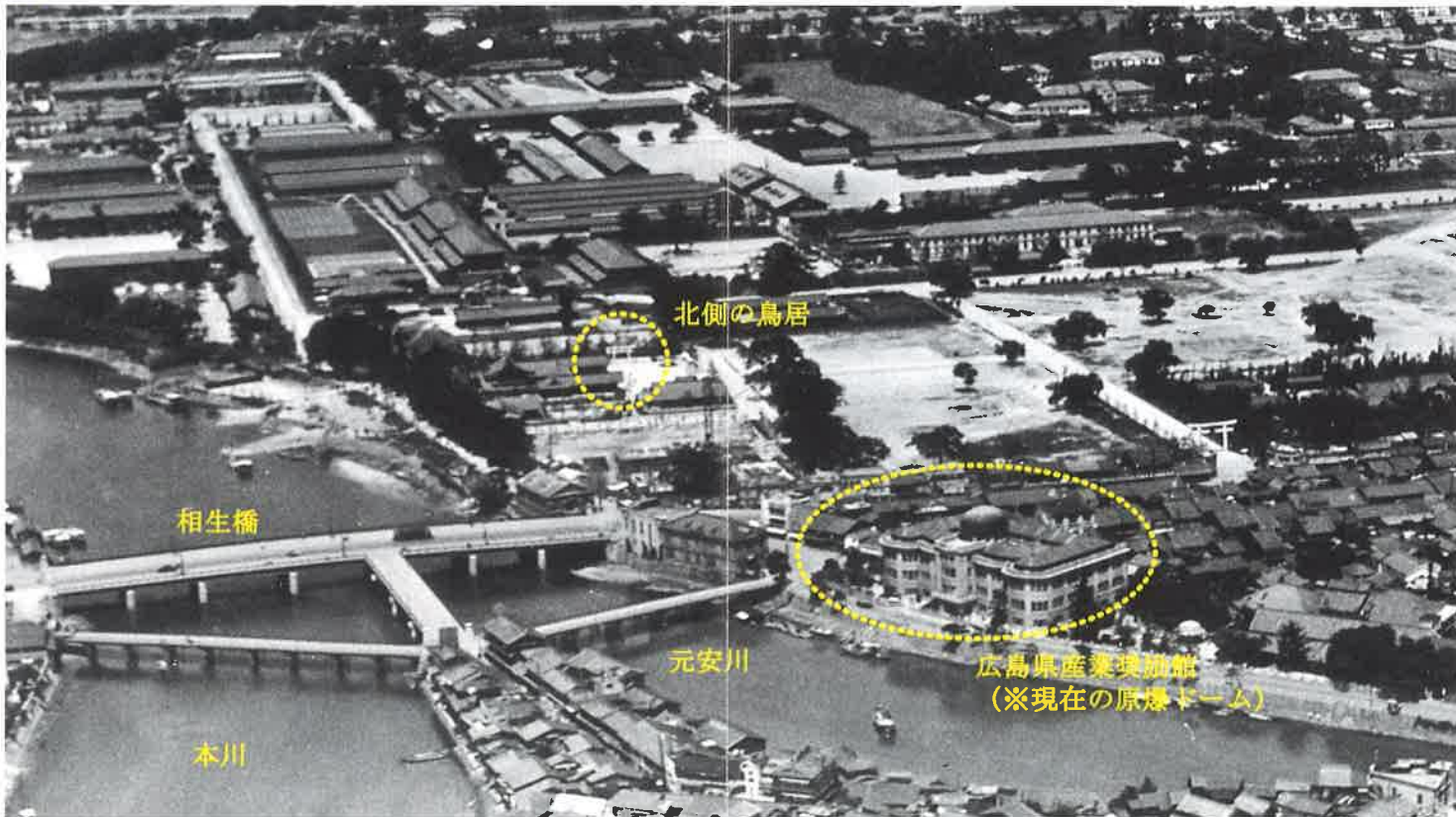


「原爆の威力まざまざ 旧廣島護国神社の鳥居台座を
発掘 爆風で根元からポッキリ（広島県）」（抜粋）

（出典：中国新聞社）

平和公園（旧中島町）上空から相生橋北方面を望む

昭和10年（1935年頃）（毎日新聞社提供）



26年前の原爆で崩壊した広島市基町、旧護国神社の鳥居の台座が、広島市民球場横の児童公園内から掘り出された。鳥居の台座は、広島市の下水管理設工事中、深さ3mくらいの土中から11月中旬に掘り出された。掘り出してから1ヶ月余り、これが台座であることがわからずに放置されていたが、たまたま鈴木館長（当時の青少年センター館長）が、発掘地点が旧護国神社であったことから関心を持ち、古い写真などを手がかりに調べて判明した。

台座は高さ50cm、横・縦1mのコンクリートの基礎に鳥居の柱がセメントで固定されている。爆風で根元からポッキリ折れた柱の一部がついており、原爆の威力をまざまざと見せつけている。原爆写真をとり続けている写真家、佐々木雄一郎氏の調べでは、この鳥居は、同神社に二つあった鳥居のうち正面を入れて北側に立っていたものらしく、左右どちらの台座か今のところはわからない。

鈴木館長は、掘り出されたままになっている台座を青少年センターに据え付け、同センターを訪れる若者に原爆の悲惨さを知らせたいと言っている。

（昭和46年12月21日付）